

マイクロプラスチック調査実施結果

【山田海岸調査】日時：2022年1月9日（日）9:30～12:00 参加者数：13名

1月9日（日曜日）13名の県民が参加して東かがわ市山田海岸でマイクロプラスチックの調査を行いました。この事業では、全3回の調査を行っており、坂出市沙弥島海岸、東かがわ市山田海岸、丸亀市本島泊海岸で行います。

昨今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックに目を向けて、どのような種類のマイクロプラスチックがどのくらいの量、海岸に漂着をしているのかを調べました。

調査は、海岸を歩いてまわり、漂着ごみやマイクロプラスチックの状況を確認した後、マイクロプラスチックの多い場所でサンプルの採取を行いました。大潮満潮時の海岸線あたりに漂着物が溜まっていたので、その周辺からサンプルを採取しました。採取は、定量の砂を取り、水を張ったバケツの中に入れて浮いてきたものを網ですくい取りました。

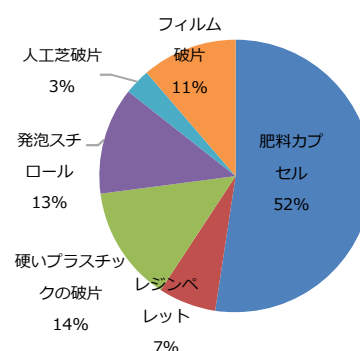
このサンプルを調べるためには、乾燥させる時間を必要とするため、事前に乾燥させたサンプルを使って参加者と一緒にマイクロプラスチックの分類と個数を調べました。

調査の後には、マイクロプラスチックについて詳しい話やマイクロプラスチックが引き起こす問題について講師から話がありました。

参加者からは「身近なごみが多いと感じた」「いつも来ている海だけど、マイクロプラスチックを知って海の見え方が変わった」などの感想がありました。



調査場所



山田海岸のマイクロプラスチック割合

山田海岸のマイクロプラスチック 2mm～5mm以下のプラスチック(採取日：2022.1.9 個数確認日：2022.1.15)

項目	肥料カプセル	レジンペレット	硬いプラスチックの破片	発泡スチロールの破片	人工芝破片	フィルム破片	その他
個数	153個	20個	40個	37個	9個	33個	0個



調査場所でマイクロプラスチック探し



サンプル採取の様子



サンプル採取の様子



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの問題について



集合写真